

政 務 活 動 費 成 果 報 告 書

令和7年7月15日

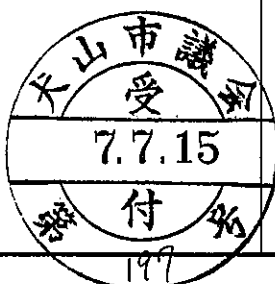
犬山市議会

議長 大沢 秀 教 様

議員名 光 清 毅

下記のとおり、政務活動費により行政視察の成果を報告いたします。

(1) 年 月 日	令和7年7月8日(火)・9日(水) (1泊2日)
(2) 場 所	・熊本県天草市、熊本県八代市、熊本城
(3) 形 態	会派(創 犬 会)
(4) 内 容	別紙の通り
(5) 成果・提言	別紙の通り



政務活動費成果報告書別紙

◇天草市（面積：683.82km² 人口：68,213人）

公共施設の再配置について

○内容

1. 天草市公共施設の現状と課題

- ・天草市では、今後も人口減少と高齢化が進むにつれて公共施設の利用者も減少していくことが見込まれている。

人口 平成12年 102,907人 → 令和22年 48,301人（予想）

高齢化率 平成12年 27.9% → 令和22年 49.6%（予想）

- ・普通交付税の算定方法が令和3年度から一本算定となり、減少しており来年度には令和4年度よりも約20億円減少する見込みである。今後の人口減少により、さらに減少する見込みである。
- ・令和12年度までに、法定耐用年数を超える施設は1,033施設あり、これは全体の77%を占めることになる。
- ・天草市は、合併前の2市8町で整備してきた公共施設をそのまま引き継いでいるため、県内の各市と比較して公共施設が多い。2,523施設

2. 今後の基本的な方針

①保有総量の縮小

- ・ポートフォリオによる供給評価（利用率）と品質評価（老朽度）を用いて各施設を評価し、A～Dランクに分ける。Dランクの施設については、令和7年度までに原則廃止することとした。

②効率的かつ効果的な利用の推進

- ・これまでの利用圏域を超えて、支所エリアやブロック圏エリアでの配置に拡大し、統廃合及び複合化を検討する。

③長寿命化の推進

- ・従来の「事後保全」ではなく、定期的な診断を行い、適切な時期に適切な補修等を行う「計画保全」で対応する。
- ・これまでの「法定耐用年数」に代わり、経年による躯体の性能劣化により、構成す

る部材強度の困難になるまでの年数、「物理的耐用年数」を「目標耐用年数」として管理していく。

○成果・提言

- ・天草市においては、当市を上回る人口減少、高齢化が進んでおり、公共施設（インフラ施設、水道・病院等を含む。）の今後のあり方は重要な課題であり、積極的な取り組みは大変参考となった。
- ・犬山市においても、今後の公共施設の整理・統合・複合化は避けてられない課題である。そのため、担当課はもちろん、全庁をあげて取り組んでもらえるように機会を捉えて、提言していきたい。

政務活動費成果報告書別紙

◇八代市（面積：681.30km² 人口：116,597人）

スマートシティの取組みについて

○内容

- ・八代市では、昨今の社会全体におけるD X化の動きを踏まえ、デジタル技術の活用による地域問題の解決、行政サービスの変革等を戦略的に進めるため、「八代市デジタル化推進基本計画」を令和4年2月に策定した。
- ・デジタル化推進基本計画では、基本理念や取組の方向性、施策等が明記されており、特に、①大規模災害時等における情報収集・提供体制の再構築及び避難所運営の効率化【はちパス（スマート避難所システム）】 ②スマートフォンやマイナンバーカードを活用したオンライン申請の拡大、公共施設オンライン予約等、デジタル市役所の推進 ③デジタル技術を活用した医療サービスの提供【デジタル医療M a a S】 ④稼げる農業の構築及び担い手確保に向けたスマート農業推進プロジェクトの実施を重点取組としている。【スマート農業】
- ・はちパスによって、災害時には避難者の避難所への入退出受付をQ Rコードで行うほか、避難者の健康状態、必要な食事・支援物資の状況をオンラインで避難所と災害対策本部で共有することができる。
- ・デジタル医療M a a Sは、へ、遠隔医療機器を搭載した車両に看護師が乗車し、診療所がない地区を巡回。テレビ会議システムを通して、市街地にいる医師がオンライン診療を実施するもの。現在は、診療所ができたため、実施していない。
- ・スマート農業の推進にあたって、①クリーンな農業：野菜の残さを肥料として農作物の品質向上を実証 ②魅力化：農業者が匠の技を競うアグリスポーツの開催 ③省力化：事務作業を効率化するため専用アプリの導入 によって各課題の解決に取り組んでいる。
- ・全庁的・横断的にデジタル化を推進するための組織力の強化と職員個々のスキルアップを図ることを目的に、各職階（部長・次長級、課長・課長補佐・係長級、D X推進員）に応じた人材育成に取り組んでいる。

○成果・提言

- ・社会のデジタル化が進む中で、八代市においては、スマートシティを目指して様々な

取組みを行っているが、特に、デジタル市役所の推進においては、道路異常通報システムややつしろポータルアプリなど、市民にわかりやすい事例を取り入れており、今後の市民サービスのあり方を明確に把握することができ、大変参考になった。

- ・犬山市においても、人材育成計画により一層のDX人材育成を進めるとともに、市民がデジタル化の恩恵を広く享受できたため何をすべきか、时期的な目標を明確にして進めてもらいたい。

政務活動費成果報告書別紙

◇熊本城

震災復興の現状について

○内容

- ・ 2016年に起きた熊本地震において、国重要文化財でもある熊本城も大きな被害を受けた。
- ・ 熊本城大天守、小天守は2021年10月に復旧が完了しているが、13の国重文建造物のうち、これまでに復旧が完了したのは長塀と監物櫓の二つだけで、城全体の復旧完了は27年先の2052年度になる予定である。
- ・ 今年度は、宇土櫓、飯田丸五階櫓、田子櫓などの建造物工事と4箇所の石垣工事が実施されている。
- ・ 現在、復旧工事の様子を間近で見られる「特別見学路」が設置されていて、訪れた人は、崩れた石垣や修復作業の現場を見学することができる。
- ・ 熊本城の復興には、長い年月と多額の費用がかかるため多くの支援を必要としており、「熊本城災害復旧支援金」（特典なし）や「復興城主」（特典あり）の制度を活用して、寄附金を集めている。

復興城主 3,268,173,106 円 154,145 件

復旧支援金 2,612,701,476 円 25,029 件 ※令和6年5月末現在

○成果・提言

- ・ 熊本城の復興にあたっては、寄附金制度を創設し、費用の一部にあてるよう取り組んでいる。犬山城の修繕費用には、入場料収入や補助金によっているが、将来、寄附金やクラウドファンディングのような新たな財源確保も検討したらどうか。
- ・ 修繕状況を来場者に見せる工夫も検討してもらいたい。